

令和6年10月3日

「宿泊施設向け接遇研修ツール作成等のための検討会」ワーキンググループ意見書

公益財団法人日本ダウン症協会

代表理事 玉井 浩

障害のある人の接遇のため、障害特性を知って頂くことはとても重要と思います。ただ、どの障害もそうですが、人によってその状態や程度は異なりますし、重複障害のある方もいます。

特に、ダウン症のある人は、人によって障害の状態や程度は様々です。

したがって、接遇に当たっては、障害特性を踏まえつつも、一人ひとり個別のニーズを丁寧に聞き取って頂くことが大切と考えます。

この点を是非研修では強調して頂きたいと考えております。

以上